大学生協
おすすめ

人の可能性は世界より広い。さあ、勇気を出して飛び立とう!



リアル
世界を知れば自分が変わる。

#SDGS×英語
現地体験スタディツアー
@カンボジア14日

「英語に自信なくてもOK!
このタビは“英語の勉強”じゃない。」

“英語を使って、世界とつながり、
自分の価値観が変わる”プログラムです。
舞台はカンボジア。現地の学生やNGOと協力しながら
仲間と一緒に社会課題に挑戦します。
英語はそのための“カギ”。
完璧じゃなくていいし、むしろ英語に自信がない人ほど
大きな成長を実感できます。
大事なのは「伝えたい」という気持ちと、一歩踏み出す勇気だけ。
迷うくらいなら、まず説明会へ!
あなたの“新しいカタチ”が、そこで動き出します。

1回目	2027年	2月8日(月)~2月21日(日)
2回目	2027年	2月22日(月)~3月7日(日)
3回目	2027年	3月8日(月)~3月21日(日)

QRコードを読み取り
ホームページで
詳細をチェック

CAMBODIA



フリータイム時:アンコールワット(イメージ)

関西の某大学職員様の感想

『カンボジアは世界の縮図』『知識が「事実」に変わる瞬間』

カンボジアの地で、負の歴史を刻む虐殺博物館やインフラ課題の残るアンドン村を訪れる体験は、学生が事前知識として学んだ「世界の現実」を、五感を通じて「事実」として捉え直す機会となります。

これは、学生の批判的思考力を養う貴重な機会となり、SDGsの諸課題を自分事として深く認識する契機に繋がります。

また、現地の大学生と英語で懸命に交流し、貧困地域での教育支援に貢献する活動は、非ネイティブ同士で間違いを恐れず意思疎通を図る経験となり、国際社会で生きる自信を育みます。

まさに、学生の価値観をアップデートする真の学びがここにあります。

本ツアー3つの特徴

POINT 1

教科書だけじゃ学べない、本物の学び



カンボジアでしかできない
深すぎる体験で成長できた。

本ツアーでは、カンボジアでのフィールドワークや現地の人との交流を通じて、教室では学べないリアルな経験ができます。実際に現場に足を運び、課題を見つけ、考え、行動することで、問題解決力や実践的な思考力が身につきます。

POINT 2

一緒に新しい挑戦ができる 仲間ができる



海外は怖い。
でも、ワクワクが勝った。

海外に行くのは不安。でも、本ツアーでは同じ目標を持つ仲間と出会い、一緒に挑戦できる環境があります。異文化の中で協力しながら活動することで、価値観の違いを理解し合い、信頼し合える仲間が生まれる。ここでの出会いが、一生のつながりになるかもしれません。

POINT 3

「伝えたい!」が、通じる力になる



英語が通じた瞬間、
世界が変わった。

英語が完璧じゃなくても大丈夫。大切なのは、伝えようとする気持ちと相手を理解しようとする姿勢。本ツアーでは、実際に異文化の人と交流しながら、使えるコミュニケーション力を伸ばせます。国や言葉が違っても、人とつながる力を実感できるプログラムです。

このプログラムで出来ること

「夢」探しのための現地体験



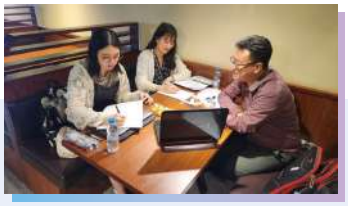
教育課題解決のプログラムを通して、子供達の「夢」探しのために自分で感じて吸収したことを全てアウトプットしていきます。

カンボジア人大学生とチームアップ



同じ思いを持った現地カンボジア人大学生とチームを組んで夢探しの企画を一緒に作ります。その過程でたくさんの学びや経験があります。

実践型英会話レッスン



コミュニケーションの基礎となる英語だけを現地で練習し、プログラム中の議論やプレゼンのために必要な英語力を磨きます。ミライズだからこそ実現できるレッスンです。

このプログラムで得られること

就職活動に有利な力が生まれる

- 英語問題発見力・実行力
- 主体性・レジリエンス
- 英語でのディスカッション・プレゼンテーションスキル

SDGs

本ツアーの活動はSDGsの4つの項目の解決に向けたプログラムとして作られています。

- 1 貧困をなくそう — カンボジアの子どもたちの未来を考える
- 4 質の高い教育をみんなに — 教育機会を拡大する取り組み
- 10 人や国の不平等をなくそう — 不平等を減らす国際交流
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう — 持続可能な開発のための国際協力

渡航前後の英語学習サポートで英語の苦手をクリア！

英語が苦手でも参加できた！ 渡航前からじっくり取り組めるのも魅力の1つです。

渡航前 ｜ 渡航中 ｜ 帰国後



渡航前から英語の準備ができる

渡航前のオンライン事前学習会では、現地で使うフレーズ、現地の文化などを学び、仲間と共にモチベーションを高めながら渡航準備を行います。



渡航中も豊富な英語トレーニング

合計30時間以上の実践型英会話クラスは予習→実践を繰り返します。現地の人との交流やアクティビティの中で、クラスでの学習内容をすぐに実践活用できるため、自然に英語が話せる「自信」を養えます。



帰国後も続く英語の成長

現地で培った英語力と自信が、帰国後の学びやキャリアに大きく活かせます。

参加者から届いた、生の声



関西学院大学 総合政策学部·2年

「社会課題に向き合う“意味”が初めて分かった」

正直、社会問題について考えることはとても難しく、終わりがないものだと思っていました。でも、チームで議論し続ける中で、「考え続けること自体に意味がある」と気づきました。また、子どもたちと過ごす時間が本当に楽しく、もっと関わりたいと思えるようになりました。振り返ると、この経験に関わったすべての人に感謝したい気持ちです。



広島大学 教育学部·1年

「やり切った経験が、自分の次につながる」

現地でイベントを実施する中で、想定しておくべきことが想像以上に多く、難しさを強く感じました。それでもチームで試行錯誤しながらやり切ることができ、大きな達成感がありました。この経験を通して、「何かを実行するには準備と考える力が必要だ」と学びました。今後同じような場面があったときに、この経験を活かしてより良い行動ができると思います。



静岡大学 農学部·1年

「一人じゃないから、乗り越えられた」

英語がうまく聞き取れなかったり、自分の考えを伝えられなかったりと、不安になる場面も多くありました。でも、チームの仲間や現地の学生が支えてくれたことで、最後までやり切ることができました。1人ではできなかったことも、仲間とから乗り越えられると実感しました。



同志社大学 英米文学部·1年

「“行動すること”で、見える世界が変わった」

これまで社会課題はどこか遠いものだと感じていましたが、実際に現地で活動することで、自分ごととして考えるようになりました。自分たちの行動が誰かに影響を与えていると実感できたことで、「まず動くこと」の大切さを学びました。この経験は、自分のこれからの選択にも影響すると思います。



関西外国語大学 英語キャリア学科·2年

「チームでやり切ったからこそ得られた達成感」

準備してきた企画を、仲間と協力して最後まで実行できたことが本当に大きな経験でした。1人ではなく、みんなで支え合いながら進めたからこそ成功できたと感じています。また、自分たちの取り組みが第三者から「社会課題の解決につながる」と評価されたことで、自分たちの行動の意味を実感することができました。今回の経験を振り返り、今後に活かしていきたいです。



亜細亜大学 ホスピタリティマネジメント学科·2年

「挑戦の中で、自分の成長に気づけた」

慣れない環境の中で、初めて会う子どもたちに対してイベントを行うことは想像以上に難しく、多くの課題に直面しました。それでも、チームで工夫しながら最後までやり切ったことで、大きな達成感を得ることができました。また、「実行する前に想定する力」の重要性にも気づき、今後の自分の行動に活かしていきたいと思います。

ツアー日程（現地スケジュール） ※現地の事情によりプログラムの変更の可能性があります。

		午前　フィールドワーク	午後　英会話	目的／学び
DAY1	移動	09：25～14：00 空路成田空港または関西空港発、第三国を乗継いでカンボジアのプノンペンへ。 16：40～22：45 プノンペン着後、現地スタッフと共に宿泊施設へ。		
DAY2	プランニングフェーズ	チームビルディング	アイスブレイク・負の歴史の予習	心理的安定性 / チーム形成
DAY3		負の歴史　体験	英語で「問い」を立てるワーク	歴史理解 / 社会構造の背景を知る
DAY4		NGO 学校スラム街訪問	仮説検証のためのインタビュー準備	教育や貧困の現場に振れる
DAY5		街頭調査	仮説のまとめ	自ら現地の声を拾う　探求体験
DAY6		Day Off（自由行動）	Day Off（自由行動）	チーム内対話
DAY7		Day Off（自由行動）	Day Off（自由行動）	チーム内対話
DAY8	アクションフェーズ	企画素案発表	アイデア整理プレゼン作成	対話力 / 他社視点での磨き上げ
DAY9		運営による企画審査	英語での説明文作成・企画準備	実行に向けた構成力・調整力
DAY10		現地イベント準備	企画準備	自ら行動する力・チームの協働性
DAY11		現地イベント・最終プレゼン	イベント実施・最終プレゼン実施	実践力・英語を伝える力
DAY12		全体振り返り・将来設計	帰国後アクションプラン設定・修了式	自己変容の言語化・内省　次の動機付け
DAY13		自由時間	—	—
DAY13	移動	13：50～24：10 空路、第三国を乗継いで帰国の途へ。		
DAY14		06：55～12：50 成田空港または関西空港着。		



■ご旅行代金（2~3名1室/お1人あたり）※相部屋となります。

ご出発日	成田発	関空発	一人部屋追加代金
2027年2月 8 日(月)	378,000円	378,000円	50,000円
2027年2月22日(月)	368,000円	368,000円	50,000円
2027年3月 8 日(月)	373,000円	373,000円	50,000円

上記旅行代金とは別に燃油サーチャージ、海外空港諸税及び日本の空港施設使用料が必要です。ご出発の3~4週間前に確定した金額をご案内させていただきます。　空港諸税 目安 成田:17,430円／関空:17,900円（2026年8月現在）
燃油サーチャージ 目安41,200円（2026年8月現在 キャセイパシフィック航空利用時）

パスポート有効残存日数　カンボジア入国時 6ヶ月以上
添乗員　同行いたしません。現地スタッフがお世話いたします。
最少催行人員　5名
食　事　朝食12回 昼食0回 夕食0回（機内食除く）
宿泊施設　White Corner Hotel、Grand Elevation Hotel、THE PLACE Hostels & Garden Bar Phnom Penh、Onderz Phnom Penh、Relax Hotel & Apartment
日系ホテル追加代金（お1人様1室部屋）　100,000円（東屋ホテル）シャワー・バスタブ付、各アメニティ付、24時間日本語対応可。
利用航空会社　キャセイパシフィック航空、コリアンエアー、ベトナム航空

オンライン旅行説明会のご案内

2026年 10月20日(火)19:00~20:00　10月22日(木)19:00~20:00
11月17日(火)19:00~20:00　11月19日(木)19:00~20:00
12月 7 日(月)19:00~20:00　12月10日(木)19:00~20:00

ツアーの詳しい内容をご説明致します。お申込み後もご参加いただけます。
QRコードからオンライン説明会の予約を行ってください。

ご旅行条件（要約）

お申し込みの際、必ず「海外募集型企画旅行条件書」を別途お受け取りいただき、ご確認の上、お申し込みください。尚、「海外募集型企画旅行条件書」は当社ホームページ http://www.arc3.co.jpからもご覧になれます。

●募集型企画旅行契約
(1)この旅行は、㈱アーク・スリー・インターナショナル（以下「当社」といいます。）が企画・募集し実施する旅行であり、この旅行に参加される お客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます。）を締結することになります。
(2)旅行契約の内容・条件は、募集広告、パンフレット、別途お渡しする旅行条件書、本旅行出発前にお渡しする確定書面（最終旅行日程表）及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行の申込み
(1)当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入の上、下記の申込金を添えてお申込みいただきます。申込金は「旅行代金」「取消料」「違約料」のそれぞれ一部または全部として取扱います。

区分	申込金（おひとり）
旅行代金が30万円以上	5万円以上旅行代金まで
旅行代金が15万円以上30万円未満	3万円以上旅行代金まで

(2)当社らは、電話・郵便・ファクシミリその他の通信手段による 旅行契約の予約の申込みを受け付けます。この場合、予約の時点では契約は成立しておらず当社らが予約の承諾の旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に、当社らに申込書の提出と申込金の支払いを行っていただきます。
(3)当社所定の旅行申込書にお客様のローマ字氏名をご記入される際には、ご旅行に使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。お客様の氏名が誤って記入された場合は、お客様の交替の場合に準じ、交替手数料をいただきます。尚、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には当社所定の取消料をいただきます。

●旅行契約の成立時期
旅行契約は、当社らが契約の締結を承諾し、申込金を受領した時に成立するものとします。

●旅行代金のお支払い期日
旅行代金は旅行開始日の前日から起算して、さかのぼって21日目に当たる日（以下「基準日」といいます。）よりも前にお支払いいただきます。

●旅行代金に含まれるもの
(1)旅行日程に明示した航空、船舶、鉄道等利用交通機関の運賃・料金。尚、運賃・料金はコースにより等級が異なります。別途明示する場合を除きエコノミー・クラスとなります。(2)旅行日程に含まれる送迎バス等の料金 (3)旅行日程に明示した観光の料金（バス等の料金・ガイド料金・入場料金等）(4)旅行日程に明示した宿泊料金及び税・サービス料金（2人部屋に2人ずつの宿泊を基準とします。）(5)旅行日程に明示した食事料金（機内食は除きます。）及び税・サービス料金。(6)お 1 人様につきスーツケース等 1 個の受託手荷物運搬料金（航空機で運搬の場合お1人様20kg以内が原則ですが、クラス・方面によって異なります。(7)添乗員同行コースの添乗員の同行費用 (8)運送機関の課すす付加運賃・料金

●旅行代金に含まれないもの
前項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示します。
(1)超過手荷物料金 (2)クリーニング・電話料金・ホテルのボーイ・メイド等に対するチップ、その他追加飲食等個人的性質の諸経費及びそれに伴う税・サービス料 (3)傷害、疾病に関する医療費 (4)渡航手続関係諸経費（旅券印紙・証紙料金・査証料・予防接種料金及び渡航手続代行に対する旅行業務取扱料金等。）(5)日本国内におけるご自宅から発着空港までの交通費や宿泊費等 (6)日本国内の空港を利用する場合の空港施設使用料 (7)日本国外の空港税・出国税及びこれに類する諸税 (8)希望者のみ参加されるオプショナルツアー（別途料金の小旅行）の料金 (9)お客様が個人的な案内、買物等を添乗員等に依頼された場合のそれに伴う諸費用、お客様の怪我、疾病等の発生に伴う諸費用、お客様の不注意による荷物紛失、忘れ物の回収に伴う諸費用、別行動手配に要した諸費用

●お客様の解除権
お客様はいつでも以下の表で定める取消料をお支払いいただくことにより、旅行契約を解除することが出来ます。なお、表でいう「旅行契約の解除期日」とは、お客様が当社らのそれぞれの営業日・営業時間内に解除する旨をお申し出いただいた時を基準とします。
<表>取消料

旅行契約の解除期日	取消料（おひとり）
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって、40日目にあたる日以降31日目にあたる日まで	ピーク時に旅行を開始する場合：旅行代金の10%（10万円を上限） ピーク時以外に旅行を開始する場合：無料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって、30日目にあたる日以降3日目にあたる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日から当日まで	旅行代金の50%
旅行開始後または無連絡不参加	旅行代金の100%

＊注1：「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。

●当社の解除権 旅行開始前の解除
当社は、次に掲げる場合において、旅行開始前に旅行契約を解除することがあります。この場合、既に収受している旅行代金（あるいは申込金）の全額を払い戻しいたします
(1)お客様の人数が各コースに記載した最少催行人員に達しなかったとき。この場合、当社は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって23日目（前項＊注1に規定するピーク時に旅行を開始するものについては33日目）にあたる日より前に旅行を中止する旨をお客様に通知します。
(2)天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関等の旅行サービス提供の中止、官公署の命令その他の当社の関与し得ない事由により、契約書面に記載した旅行日程に従った旅行の安全かつ円滑な実施が不可能となり、又は不可能となるおそれが極めて大きいとき。一例/日程に含まれる地域について、外務省から「渡航の是非を検討してください」以上の危険情報が出されたとき。

●当社の免責事項
お客様が次に掲げるような事由により損害を被られても、当社は責任を負いかねます。ただし、当社又は当社の手配代行者の故意又は過失が証明されたときは、この限りではありません。
①天災地変、戦乱、暴動又はこれらのために生ずる旅行日程の変更もしくは旅行の中止②運送・宿泊機関等の事故もしくは火災により発生する損害③運送・宿泊機関等のサービス提供の中止又はこれらのために生ずる旅行日程の変更もしくは旅行の中止④日本又は外国官公署の命令、外国の出入国規制又は伝染病による隔離、又はこれらによって生じる旅行日程の変更、旅行の中止⑤自由行動中の事故⑥食中毒⑦盗難⑧運送機関の遅延、不通、スケジュール変更、経路変更など、又はこれらによって生ずる旅行日程の変更もしくは目的地滞在時間の短縮

●特別補償
お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により生命、身体または手荷物に被った一定の損害について、旅行業約款特別補償規程により、死亡補償金、入院見舞金、通院見舞金、携行品にかかる損害補償金を支払います。

●旅程保証
当社は、当パンフレットに記載した契約内容のうち、当社旅行業約款（募集型企画旅行条件書第21条別表）に掲げる契約内容の重要な変更が生じた場合は、定められた変更保証金をお客様に支払います。尚、当社は、お客様が同意された場合、金銭による変更補償金の支払いに替え、同等価値以上の物品・サービスの提供をすることがあります。

●お客様の交替
お客様は、当社の承諾を得て旅行契約上の地位を別の方に譲渡することができます。この場合、お一人様につき10,000円の手数料を頂戴します。尚、既に航空券を発行している場合には、別途再発券に関わる費用を請求する場合があります。

●個人情報の取扱いについて
当社およびご旅行をお申込みいただいた受諾旅行業者（以下「販売店」）は、旅行申し込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客さまとの連絡や運送・宿泊機関等の手配のために利用させていただくほか、必要な範囲において当該機関等に提出いたします。お申込みの際には必ず旅行条件書（全文）をお受け取りいただき、事前に内容をご確認の上お申込みください。

●パンフレット表示の旅行開始地までの国内航空券の取り扱いについて
パンフレット掲載の特別運賃を利用した国内航空券の手配に関する契約は当社が承諾したときに成立します。国内航空線の区間について当社が承諾した後は、当該のコースの海外旅行部分を含めて募集型企画旅行契約とし、特別補償、旅程管理、旅程保証の対象とします。尚、お客様が申し込まれたパンフレット記載の特別料金での国内航空券について予約・確保ができず、お客様が該当コースを取り消しする場合は、該当コースに関わる所定の取消料をお支払いいただきます。

●ご旅行条件の基準
この旅行条件は2026年8月1日を基準としています。また、旅行代金は2026年8月1日現在有効なものとして示されている航空運賃・適用規則又は2026年8月1日現在国土交通大臣に認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

旅行企画・実施

「地球にやさしい旅人宣言」ー自然や文化遺産を大切にー

ARC THREE INTERNATIONAL

ボンド保証会員 (社)日本旅行業協会正会員
旅行業公正取引協議会会員
プライバシーマーク 17001896(05)

株式会社 アーク・スリー・インターナショナル

観光庁長官登録旅行業第1409号
〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目14-8 梅田北プレイス13階　総合旅行業務取扱管理者：荒木 克周

受託販売

全国大学生活協同組合連合会旅行センター

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う支店・営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関して担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱管理者にお尋ねください。